

「是非一度、山川の軍を無事先導してくれた、勇莊な小松の獅子舞ししまいを見たい」と、言うので明治四年二月、小松の獅子を、御薬園おやくえんに招きました。

このとき、招かれて行った人々は、次のとおりです。

お弓 藤田与次郎

笛 高木金次郎、高野茂吉

踊り 蓮沼千太郎、中島善太郎、大竹巳之吉

太鼓 高野長太郎、藤田長太郎、大竹小太郎、渡部藤吉

このとき、御覧に入れた踊りは、今も秘曲といわれています。「女獅子かくし」でした。

小松の獅子舞を、見た容保公は、大いに喜び、蓮沼千太郎の太夫獅子に、みずから葵あおいの御紋ごもんのほかけをかけてくれたといっています。そして、小松獅子舞のときに使用する高張灯あおい（たかはりちようちん）に葵あおいの御紋ごもんをつけることを許したといわれております。